

大好き！絵本

初瀬 恵美



『こどもジェンダー』
シオリーヌ(大貫詩織)
監修:松岡宗嗣
絵:村田エリー
発行所:株式会社
ワニブックス

今年度もあっという間に3月。年長さんの旅立ちの季節になりました。旅立つ子ども達、そして保護者の方に向けて今回は『こどもジェンダー』という本をご紹介します。

この本の中で語りをつとめてくれるのが、シオリーヌ(大貫詩織)さん。助産師やYOUTUBEなどをされているかたです。とても分かりやすく、ジェンダーの事を語りかけてくれます。

「ジェンダー」とは「社会生活の中でつくられた「性別」のこと。「オトコらしさ」とか「オンナノコらしさ」といういいかたもできるかもしれないね。」と「ジェンダー」とは何かを教えてください。そして「オトコらしく」「オンナらしく」ときめつけて、かんがえるのはくるしいなと かんじるひとも たくさんいて、すこしずつ「じぶんらしく」いることをたいせつにしようという おもいがひろがってきているんだ。…(中略)…あなたが あなたらしく、すきなことを おもいきりたのしんで、このせかいでいきていけますように。そしてほかのひとの「そのひとらしさ」もたくさん みつけられるひとになってくれるといいな、と ねがっています。と、本の最初にご自身の思いを語って下さっています。

当園の生活には、「制服」がなく、「オトコノコ」と「オンナノコ」を色で区別する「モノ」がありません。好きな服を着て、好きな色の「モノ」を選ぶという当たり前の日常があるだけです。しかし、小学校の「制服」は「ズボンとスカート」好きな方を選んでよくても、「オトコノコ」が「スカート」を選択するには、まだまだ周囲の理解が不足していたり、何色もある「ランドセルの色」の中から「オトコノコ」が「赤」を選ぶことへの抵抗は根強くあります。なぜでしょう？これこそが「社会生活の中でつくられた「性別」」つまり、「ジェンダー」の一例です。

そういった、身近な「どうすればいいかな？」に「こう つたえてみるのはどうかな？」とヒントを教えてください。今までの価値観を息苦しいと感じたときに、「あなたのままでいいよ」と心を支えてくれる一冊になることを願い、今月はこの本を紹介させていただきます。大人の人にも子どもたちの「自分らしさ」を大切にすると、どんなことかを優しく伝えてくれる本です。「みんなちがって、みんな『いいね！』」と心から言葉を交わし合える社会にしていきたいですね。



誕生日おめでとう

